

○二級河川比地川水系では、令和6年11月の豪雨による家屋浸水などの被害が発生しているため、河積が阻害されている箇所
の浚渫等のハード整備や、避難のためのソフト対策等に取り組み、流域における浸水被害の軽減を図る。

また、河川整備に向けて、河川整備基本方針・河川整備計画策定に取り組む。

位置図



- 被害対象を減少させるための対策
・開発行為に伴う流出抑制対策【開発事業者】

- 被害の軽減、早期復旧、復興のための対策
・簡易型カメラ、回転灯整備【県】
・洪水・高潮浸水想定区域の指定【県】
・ハザードマップの作成【国頭村】
・要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進【国頭村】

- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
・河川整備基本方針・河川整備計画策定、
河川整備【県】
・浚渫【県】
・開発行為に伴う流出抑制対策【開発事業者】

浚渫（県）

比地川

砂防堰堤
流路工整備(県)

簡易型カメラ(県)
水面感知センサー及び回転灯(県)

奥間川

- 凡例
- ◀▶ 県管理区間
 - 浚渫、護岸整備
 - 流域
 - ▲ 砂防堰堤

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合があります。

二級水系
流域治水プロジェクト

比地川水系流域治水プロジェクト
【ロードマップ・効果】

沖縄県

比地川水系では、上下流の流域全体を俯瞰し、県、町、住民や民間企業等が一体となって、以下により「流域治水」を推進する。

【短期・中期】 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策では、浚渫や河川整備基本方針・整備計画の策定、河川整備を実施。被害の軽減、早期復旧、復興のための対策では、簡易型カメラ、水面感知センサー及び回転灯を整備するほか、防災メール及び防災無線等を活用した情報発信による防災体制の強化を図る。

【中長期】 護岸整備等の河川改修を実施。河川改修実施後は河道状況を把握し堆積土砂除去を行うなど、各施設において適切な維持管理を行う。被害の軽減、早期復旧、復興のための対策では毎年フォローアップを実施し、防災体制の改善・強化に繋げていく。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期（概ね5年間）	中期（概ね10～15年間）	中長期（概ね20～30年間）
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	・浚渫	県			
	・河川整備基本方針 河川整備計画策定、河川整備	県			
	・開発行為に伴う流出抑制対策	事業者			
被害の軽減、早期復旧、復興のための対策	・簡易型カメラ 水面感知センサー、回転灯整備 ・洪水・高潮浸水想定区域の指定	県			
	・防災メール及び防災無線等を活用した情報発信	県、国頭村			

比地川水系
流域治水プロジェクト

浸水被害軽減・逃げ遅れゼロ

【凡例】

- 破線：事業中、取組中
- 実線：維持管理、フォローアップ等